

平成16年度事業報告書

自：平成16年4月1日～至：平成17年3月31日

1. はじめに

政府によると、平成16年度の我が国の経済は、一部に弱い動きがみられたが、年度全体を通してみると、企業収益が大幅に改善するなど企業部門が引き続き堅調な中、雇用環境が持ち直す動きがみられ、民間需要中心の回復を続けたとしている。

物価については、国内企業物価は原油など素材価格が高騰した影響による上昇がみられたが、消費者物価は前年度比で小幅な下落基調が続くなど、緩やかなデフレ状況が継続するとしている。

こうした結果、平成16年度経済全体として見れば、国内総生産の実質成長率は、年度前半の比較的高い成長の寄与もあり、2.1%程度のプラス（名目成長率も0.8%程度のプラス）になるとしている。

そして、情報サービス産業は、経済産業省が昨年11月に発表した特定サービス産業実態調査によると、平成15年暦年の売上高は前年比1.4%プラスの14兆1706億円留まり、平成14年の2.0%を下回り、2年続いて低調であった。平成16年も速報によると15年比0.6%プラスの低い伸び率となっている。

このような厳しい環境のもとにおいて、当協会は、平成16年度は7社の新規会員を迎え、県内最大の情報サービス産業の公益法人として、「彩の国さいたま情報化フェア」を「ビジネスアリア2004」として10月さいたま新都心にて、埼玉県、(財)埼玉県中小企業振興公社との共催により開催、韓国から大田広域市を中心に先端的中小企業18社が参加した。また、9回目となった「彩の国ホームページコンテスト2004」は、県内のみならず全国各地より96点の応募があり、平成17年の賀詞交歓会にて表彰式が行われ、最優秀作品・優秀作品に埼玉県知事賞・さいたま市長賞等が贈呈された。

そのほか、IT人材育成研修・人材確保事業、経営者セミナー、ビジネス交流会、システム技術研究、調査活動、広報活動、産・学・官交流事業、福利厚生事業など諸事業を推進した。

2. 事業報告

(1) 人材育成事業

情報通信人材研修事業

総務省の施策による(株)横須賀テレコム・ネットワークの助成金に基づくスキルアップ研修を実施

12コース開催：平成16年9月～平成17年1月

Java 関連	5コース	受講者32名
ネットワーク技術	3コース	受講者31名
情報セキュリティ関連	4コース	受講者35名
		受講者総数98名

若年者委託訓練事業

今年度より（独）雇用・能力開発機構は国の施策を受け、若年者に対する職業訓練として、民間教育訓練機関等を活用して実施する委託訓練について企業等における実習型訓練を織り込んだものを実施することになった

当協会は実績を評価され、その実施機関に指定され、平成16年4月より3回延べ69名の訓練生を受け入れた

ビジネス講習会

一般社員向けセミナー

開催日：平成16年11月26日（金）～27日（土）

開催場所：別所沼会館 参加者：16名

講師：篤志館 関根 有 二 氏 ・ 雨宮 けい子 氏

テーマ：「若手社員スキルアップ研修 ～ビジネスナー・コミュニケーション能力アップ～」

(2) 地域情報化推進事業

「ビジネスアリーナ2004」に参画

「彩の国さいたま情報化フェア2004」開催

テーマ：「拓こう新時代・活かそう確かな技術」

開催日：平成16年10月19日（火）～20日（水）

場所：さいたま新都心「スパ-アリーナ」

今回は、539の企業、団体が参加し、埼玉県内で最大規模の企業イベントとなった。当協会からは、会員企業40社と、海外友好団体である社団法人韓国テマートの18社を合わせ58社（68小間）が参加した。会期中台風23号の影響を受けたが、2日間で6,420名の来場者があり成功裡に終了した

経営者セミナー

「彩の国さいたま情報化フェア記念講演会」

10月19日ホテルリソル武蔵野において開催

講師；韓国企業(株)MAXWAVE 代表 安 東植 氏

テーマ；「韓国中小企業の課題」

そして、講演会の後、同ホテルにて日韓経営者交流会を開催

韓国から32名、日本からは経済産業省関東経済局、埼玉県労働商工部、

さいたま市、埼玉大学の関係者を始め150名余の参加を得て盛況裡に行われた

第9回「彩の国さいたまホームページコンテスト2004」

公募期間：平成16年5月1日～10月15日

応募総数：作成者151名 点数96点

表彰式 平成17年1月27日 「パレスホテル大宮」にて

平成16年度人材確保推進事業・情報化月間行事の一環として開催

受賞者一覧

埼玉県知事賞 小林 亜衣 (共栄大学生) 「Web 絵手紙展 10代最後の私の本音」

さいたま市長賞 上田 祐美 (会社員) 他 2 名 「ぱぷぼ村の祢なお話」

小・中学生の部 埼玉新聞社賞 高橋 邦夫 (行田市立行田中学校) 「私の住む町行田」
優秀賞 渡辺 順也 (多治見市立精華小学校) 「美濃焼探検 2」

高校・専門・大学の部 埼玉県教育長賞 鈴木 裕光 (東都立コンピュータ専門学校)
「ラジオ体操入門」
優秀賞 劉 旭青 (中央情報専門学校) 「日本の生活」

一般の部 埼玉県労働商工部長賞 飯塚 文香 (富士見市)
「猫でもできる明るい家庭麻雀」
優秀賞 北清 勇一 (埼玉県松伏町) 「かんじハウス」

協会会員の部 FM NACK5 賞 桑原弘志他 5 名 (蓼科情報) 「きょうはパズルにしよう」
優秀賞 諸星 真樹 (FM ミック埼玉) 「埼玉県を彩る美しい景色や偉人」

刊元特別賞 井口 忠之他 17 名 (シブシー) 「16 期生のホームズ」

富士通特別賞 石井 麻里亜他 1 名 (都立工芸高校) 「ミライへの旅 for FUTURE」

講演会・セミナーの開催

タイムリーなテーマを選定し、適宜実施開催し、新ビジネス展開の研究、協会会員間のビジネス情報の交流を活発に推進

§ 講演会

開催日 : 平成 17 年 3 月 29 日 (火)
開催場所 : 大宮パレス 参加者 : 51 名
講師 : 埼玉大学工学部助教授 池口 徹 氏
テーマ : 「最適化組み合わせ問題について」

§ ビジネス交流会

開催日 : 平成 16 年 6 月 8 日 (火)
開催場所 : ヴィンテージ 参加者 : 55 名
講師 - 1 : 外資経営 経営協力部 斎藤課長 氏
テーマ : 「成功事例・再生事例に診る」
開催日 : 平成 16 年 9 月 28 日 (火)
開催場所 : ヴィンテージ 参加者 : 78 名
講師 - 1 : 経済産業省情報経済課 課長補佐 烏丸 忠彦 氏
テーマ : 「個人情報保護法に関する情報サービス産業のガイドラインについて」
講師 - 2 : 小林企業成長研究所 代表 小林 一博 氏
テーマ : 「非常識経営」が伸びる企業の常識

開催日 平成 17 年 3 月 25 日 (金)
 開催場所 : 新都心 8 番館 参加者 : 28 名
 講師 -1 : (有) ケイツ・ネットワーク 社長 小林 誠 氏
 テーマ : 「我が社の業務紹介」
 講師 -2 (株) エーエスティ 社長 佐藤 友雄 氏
 テーマ 「SAP と今後の展開」
 講師 -3 (株) つばさ情報 部長 池田 一幸 氏
 テーマ 「会社紹介」
 講師 -4 (株) 内田洋行 課長 石山 卓 氏
 テーマ 「内田洋行の事業紹介」
 講師 -5 富士通ワイヤ機器(株) 課長 京極 みいき 氏
 テーマ 「当社の事業紹介」

(3) 調査研究事業

地方公共団体情報化施策動向に関するアンケート調査

県下の地方公共団体の情報化動向を把握し、地域情報化戦略立案や情報化計画策定等情報提供と地域情報化サービス産業の技術力向上を目的として実施
 県内 89 地方自治体にアンケート 37 地方自治体より回答あり回収率 41.6% の高い回答を受けた

集計結果は平成 17 年 4 月発行の広報誌サイプレス 44 号に掲載

県内企業アンケート調査

一般企業対象：県内企業の情報化動向及び、情報化の及ぼす労働状況を把握し、これらの情報を提供することにより、情報化技術の向上を目的として実施
 県内企業 600 社、「情報化フェア出展企業」などにアンケート 127 社より回答
 集計結果は平成 17 年 1 月発行の広報誌サイプレス 43 号に掲載

プロジェクト管理技術・開発方法・先進 IT 研究

部会月 1 回 年 12 回開催

研修合宿 : 平成 16 年 11 月 6 日 (金) ~ 7 日 (土)

開催場所 : 太平洋ホテル軽井沢寮 参加者 9 名

テーマ : 「開発プロセス適用パターンのまとめ」

「研修セミナー」平成 17 年 1 月 13 日 (木) 開催場所 : ソニックシティ

講師 : (株) デジタルイノベーション 井本 貴志 氏

テーマ : 「ITSS 活用のポイント」参加者 26 名

平成 16 年度活動報告書 平成 17 年 4 月発行

「IT スキル標準」研究会

IT 技術者研修のためのカリキュラム検討会の開催

開催日 : 第 1 回平成 16 年 11 月 26 日 第 2 回平成 17 年 2 月 1 日

「e-Japan 重点計画 2002」に基づき、作成された IT 技術者に必要とされる実務能力体系である「IT スキル標準」を研究し、17 年度の情報通信研修のカリキュラム作成の検討を行

う

(4) 啓蒙・普及事業

広報誌「SAI-PRESS」の定期発行：年4回

協会の動向を外部にアピールし、協会の知名度をより一層向上させ、情報サービス企業団体としての影響力を得るための積極的な情報発信を行う

協会ホームページの運営について：随時情報内容の更新

小・中・高校生を対象とした「パソコン教室」

「夏休み」及び「県民の日」パソコン教室：小・中学生の親子・高校生に向けて県内各所で実施

平成16年10月23日（土）川越市にて親子15組参加

平成16年12月19日（日）新座市にて親子10組参加

(5) 産・学・官交流事業

情報サービス産業振興のために、埼玉県をはじめ経済産業省・総務省等及びJISA・ANIA等諸団体・埼玉大学をはじめとする県内大学、地域共同研究センター、国・県主導の産学官交流協議会等へ積極的に参画し交流

第14回世界情報技術者産業会議

平成16年5月18日より21日まで、ギリシャ・アテで開催された「WCIT2004」に（社）情報サービス産業協会会員として10名参加

「広域関東圏産業クラスター推進ネットワーク」に参画

第26回全情連（ANIA）関西大会平成16年6月11～12日 11名参加

韓国・大田広域市にある（社）韓国テックマートを平成16年9月19日～22日訪問、先端技術工業団地・研究機関等を視察、「情報化フェア2004」の出展について協議4名参加

行政情報共有セミナー

「関東IT経営応援隊in埼玉セミナー」として関東産業経済局の後援を受け、平成17年2月17日「さいたま新都心8番館」にて開催 参加者38名

新年賀詞交歓会：平成 17 年 1 月 27 日（木）パレスホテル大宮にて開催
諸官庁・諸団体関係者を招くと共に、協会会員の交流・親睦を図る
ホーム・コンテスト入賞者も招待 参加者 130 名

(6) 福利厚生事業

協会会員の福利厚生事業

第 11 回ボウリング大会：平成 16 年 11 月 27 日（土）大宮パルコにて開催
参加者 72 名

団体優勝：ぶぎんシステムサービス(株) 個人優勝：(株)システムブレイク 鈴掛 隼人
チャリティー事業

第 9 回マラソン大会：平成 16 年 11 月 9 日（火）岡部マラソン CC にて開催
参加者：30 名 優勝者：(株)埼玉電算センター 中澤 信雄
義援金を社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会に寄贈

(7) 人材確保推進事業

（独）雇用・能力開発機構、（財）21 世紀職業財団の指導支援を受け推進
年次計画査定調査

労働時間・福利厚生・給与等：調査の集計、検討、査定など事業成果の分析
調査集計結果は広報誌サイプレス 41 号に掲載

「女性労働者の能力発揮のための業種別使用者会議」

平成 16 年 9 月 8 日 リックにて開催 参加会員企業 7 社

雇用環境改善事業

AG ネット研修：雇用・能力開発機構の開催日程に合せ実施

平成 16 年 7 月 16・23 日 テーマ「コミュニケーション能力の向上」

平成 16 年 9 月 10・11 日 テーマ「変革期のリーダーシップとマネジメント」

平成 16 年 10 月 20・27 日 テーマ「顧客指向の仕事革新力向上」

平成 16 年 11 月 16・17 日 テーマ「コンサルティング営業力強化」

平成 17 年 2 月 8・9 日 テーマ「成功する目標管理の実践的展開」

採用活動改善事業・共同求人・合同就職面接会

平成 16 年 5 月平成 17 年 2・3 月さいたま市・川越市にて開催

平成 16 年 5 月 14 日（金）リックシティ 入場者 285 名

平成 17 年 2 月 15 日（火）川越パレス 入場者 251 名

平成 17 年 3 月 4 日（金）リックシティ 入場者 210 名

産学交流会：学校・企業の求人懇親会

IT人材の育成・IT技術の教育・就職状況などについて意見交換を行う
平成17年2月4日(金)大宮サパル 参加 学校12校 企業18社

求人ガイドブック作成：平成17年4月発行の広報誌サパル44号に
平成18年度新卒者求人情報掲載

(8) 会員増強運動

より多くの情報サービス企業を結集し、地域情報サービス産業団体として、活動基盤の確立を図るとともに、協会活動のより充実を図る

年間目標：20社 実績7社

以上